

パリ第 13 大学・筑波大学共同セミナー

パリ第 13 大学より、言語・辞書・情報処理研究所の主管をされている言語学者であるサラ・メジュリ教授をお招きして、パリ第 13 大学・筑波大学共同セミナーおよび学生研究交流会が開催されます。また、文法・語彙のテーマに加え、言語・文化の多様性についても幅広い議論を計画しています。使用言語はフランス語です。

記

パリ第 13 大学・筑波大学共同セミナー 「フランス語の文法と語彙のダイナミクス」

日時：2009 年 9 月 3 日（木） 13:30~16:55

場所：人文社会学系棟 B620

プログラム：

13:30~14:30 **【基調講演】** Recherche linguistique au sein du laboratoire Paris 13
サラ・メジュリ（パリ第 13 大学教授）

14:40~15:20 Chauffe-biberon est-il un nom predicatif ou un nom faisant partie
d'une expression figee verbale?
高田晴夫（新潟大学人文学部教授）

15:20~16:00 L'approximatif en francais et en japonais
渡邊淳也（筑波大学人文社会科学研究科准教授）

16:15~16:55 L'indicible et l'enonciation
戸部篤（筑波大学人文社会科学研究科 IFERI 研究員）

< 学生研究交流会 >

日時：2009 年 9 月 7 日（月） 13:30~15:30

場所：人文社会学系棟 B620

プログラム：

13:30~14:30 北アフリカの言語多様性
宮川宗之（筑波大学人文社会科学研究科文芸・言語専攻）

14:30~15:30 今後の共同研究に向けての提言
青木三郎（筑波大学人文社会科学研究科教授）